

## 国際関係学科フィールドワーク・フェスタ 2015 開催報告

2015年11月、愛知県立大学長久手キャンパスにて、外国語学部国際関係学科の学生・教員による行事「フィールドワーク・フェスタ 2015」が行われました（主催：国際関係学科フィールドワーク・フェスタ 2015 実行委員会）。

「フィールドワーク・フェスタ」は、世界中の国ぐに・地域に関心を向ける国際関係学科の学生たちと教員たちがいっしょにつくる行事です。2011年以降、秋の恒例行事となり、今年で5回目の開催となります。「旅の写真展」「旅の報告会・茶話会」のふたつの事業に取り組みました。

### ■旅の写真展

国際関係学科の学生・教員が、最近、国内外の訪問先で撮影してきた写真のパネルを作成し、展示しました。

【とき・ところ】2015年11月10日（火） - 24日（火）、長久手キャンパス H棟地下ホール

【展示作品数】90点（41人の学生・教員による24カ国・地域での撮影作品）

【出展作品のおもな撮影地】日本（北海道、山梨、愛知、岐阜、滋賀、大阪、徳島、長崎、鹿児島、沖縄）、韓国、中国、フィリピン、カンボジア、ラオス、マレーシア、シンガポール、インドネシア、ミャンマー、インド、UAE、トルコ、ウズベキスタン、スウェーデン、デンマーク、フランス、イギリス、アイルランド、カメルーン、アメリカ、メキシコ、ブラジル、オーストラリア



### ■旅の報告会・茶話会

国際関係学科の学生・教員たちが、国内外の訪問先で撮影してきた写真や動画を持ち寄って話をする、旅の報告会を行いました。また、旅先のお土産を持ち寄って茶話会を開催し、食文化を通じた異文化理解・交流の機会としました。

【とき・ところ】2015年11月18日（水）14:30-17:30、長久手キャンパス H409

【参加者数】約20人

【発表数】10件（10組11人による）、約22カ国に関する報告

話題提供：イギリス留学（オックスフォード）／イギリス留学（プレストン）／インドネシアの



日本語教育実習／ウズベキスタン旅行／カンボジアボランティア／日本で出会ったアフリカの友人たち（コンゴ民主共和国、コートジボワール、カメルーン、チャド、ケニア、エチオピア、南アフリカ）／マレーシア留学＋ほかアジア諸国旅行（ASEAN10か国）（動画）／マレーシア留学＋ほかアジア諸国旅行（マレーシア、ベトナムなど）／アメリカ・アリゾナ留学／バックパックで世界旅行（タイ、中国、アメリカ、アラスカ）

## ■主催者・協力者

【主催】国際関係学科フィールドワーク・フェスタ 2015 実行委員会（国際関係学科の学生たちにより構成）

【助言】亀井伸孝（国際関係学科）

【協力】愛知県立大学多文化共生研究所



## ■成果と展望

学生たちが楽しみながら、意欲的に準備に取り組みました。旅の報告会は、学年を越えて学生や教員たちが集まる交流の場となりました。旅の写真展は、作品数 90 点、出品者数 41 人を数え、いずれも史上最多となりました。

成果として、異文化への関心を相互に高めあう機会となったこと、学生たちが自ら表現することにより留学や海外フィールドワークなどへのモチベーションを高めたこと、学年の違いをこえた交流の機会となったこと、国際関係学科の特色・魅力を発信できたことなどが挙げられます。

5年にわたるフィールドワークと写真表現、コンテンツ収集の取り組みにより、オープンキャンパスの学科紹介での写真展および絵はがき作成（8月）、国際関係学科専門科目「プロジェクト型演習」（2015年度後期、2年生配当）としての授業化（注1）など、学内外から評価される教育実践活動へと育ちつつあります。

これから入学する学生たちの参加も促しながら、国際関係学科らしい行事として受け継がれていくことが期待されます。

文責：亀井伸孝（国際関係学科）

執筆協力：佐藤晴香／佐藤遙／角倉僚介／河島健太／草間美夏／紀和季節／  
木全奈美恵／渡部汐里／高田麻以／上手結有希／高木麻奈／上西千晴  
（実行委員、国際関係学科学生）

※行事の詳細は、国際関係学科公式学生ブログでも紹介しています。

<http://kendaikokusai2012.blog.fc2.com/>

（注1）国際関係学科専門科目「プロジェクト型演習」とは、2014年度入学生から適用されている新カリキュラムにおける2年生配当の科目で、2015年度後期に初めて開講された。1学年定員55名の2年生に対し、5クラス（五つのプロジェクト）が設置され、平均10名強のクラスで、「手を動かしながら学び、何らかの成果物を創る」ことを目的としたそれぞれの演習が行われている。

今回の写真展では、初めての試みとして、「プロジェクト型演習」のうちのプロジェクトD「写真・映像による調査と表現」（担当教員：亀井伸孝）を履修している12名の学生たちが、授業の一環として、この写真展のパネル作成と展示作業に合流した。この12名以外の参加者は、すべて従来通り、課外活動としての参加である。

また、同授業にステューデント・アシスタント（SA）として参加しているヨーロッパ学科スペイン語圏専攻の学生1名の作品も含まれている。